

授業科目 発達障害系評価学実習

【担当教員名】 押木利英子	対象学年	2	対象学科	理学
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

<一般目標：G I O>

発達障害系理学療法概念と歴史を解説し、その内容と領域の概要を講述する。運動発達原理と機序を解説し身体運動との関連について理解を深める。脳性麻痺の異常運動発達について講述し諸発達検査法を解説して、発達という視点から運動を分析する方法を教授する。

<行動目標：S B O>

1. 発達障害系理学療法の領域とその適応を説明できる。
2. 療育の歴史を把握しその目的と意義を説明できる。
3. 成熟・成長・発達の違いが説明できる。
4. 上位中枢の機能をふまえて中枢神経系疾患の病態を把握できる。
5. 反射テストの基本的方法が実施できる。
6. 正常運動発達を説明できる。
7. 構造・順序・移行分析の目的と方法が説明できる。
8. 実際の動作に対する動作分析が実施できる。
9. 脳性麻痺の病態を把握できる。
10. 脳性麻痺児の異常発達を時系列で説明できる。
11. 発達テストの基本的方法が実施できる。
12. 脳性麻痺の評価方法を選択し実施できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO 番号	学習方法、担当教員
1	発達障害系理学療法の目的とその展開	1, 2, 3	講義
2	反射テストの意義と実際	4, 5	実習
3	正常運動発達【1】	6	実習・ビデオ
4	正常運動発達【2】	6	実習・ビデオ
5	正常運動発達【3】	6	実習・ビデオ
6	動作分析【1】	7	実習
7	動作分析【2】	8	実習
8	脳性麻痺の定義・分類	9	実習・ビデオ
9	脳性麻痺の運動発達【1】	10	実習・ビデオ
10	脳性麻痺の運動発達【2】	10	実習・ビデオ
11	脳性麻痺の運動発達【3】	10	実習・ビデオ
12	脳性麻痺の評価【1】	11	実習
13	脳性麻痺の評価【2】	12	実習
14	まとめ	12	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書	子どものリハビリテーション医学	神内一保・安藤徳彦	医学書院	1999年 9500円＋税
	写真でみる乳児の運動発達	木下孝子・中村 勇	共同医書出版社	1998年 5500円＋税
参考書	基礎運動学 第5版	中村隆一・斉藤 博	医歯薬出版	2001年 6700円＋税
	理学療法評価法	松沢 正	金原出版	1998年 6200円＋税
	脳性麻痺の類型別運動発達	カレル&ベルタ・ポバス	医歯薬出版	2001年 2550円＋税
	乳児の発達のみかたのエッセンス	吉岡 博	診断と治療社	2001年 1400円＋税
その他の資料	評価用紙、プリント、他			

【評価方法】	【履修上の留意点】
出席 課題レポート 小テスト 定期テスト その他	「発達障害系評価学実習」と同時進行する。 評価技術の習得には理論的理解とくり返しの練習が必要。 動きやすい服装で参加のこと。